

学校だより 麦の穂



令和4年度9月号 8/25 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 1,024人（－2人）
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/08fujineminami/>

夏休み中、お休みしていたブログを再開します。
2学期も毎日更新を目指します。ご覧ください。

学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

残暑お見舞い申し上げます。オミクロン株の変異種BA.5が猛威を振るう中での2学期のスタートとなりましたが、明るい笑顔の子供たちと再会でできて、大変うれしく思います。

さて、本校では、「校内での感染拡大を生じさせない、濃厚接触者を出さない」を合い言葉に、文部科学省資料「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～新しい生活様式～（2022.4.1 Ver.8）」等を参考に、学校医の指導を受けながら、校内対応のガイドラインを策定し、感染対策に厳に取り組んで参ります。

保護者の皆様におかれましては、引き続き子供たちの毎朝の検温と健康観察、健康観察アプリ(リーバー)への確実な入力、送信につきましてよろしくお願いいたします。また、軽度であっても子供たちに風邪症状や倦怠感が伺える場合には、決して無理はさせず、自宅にて静養するようにお願い申し上げます。

学校では「レベル2（警戒を強化するべきレベル）」の対応を継続します。学校昇降口での検温、健康観察で発熱や不調が確認できた場合は、お迎えをお願いしますので御承知おきください。また、同居の御家族の皆様の検温、健康観察も実施していただき、発熱や咳等の風邪症状や普段とは異なる倦怠感がある場合には、お子様につきまして自宅にて待機するようにお願い申し上げます。子供たちに豊かな学びを実現するために御理解と御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。なお、ガイドラインは学校のHPでも確認できますので御参照願います。

■「自己効力感」の高まり 1学期の学校評価より

校長 川口秀也

自己効力感とは、今までの行動や成長、学習等を踏まえ、自分なりの根拠を持って「自分ならばできる」と思う、前向きな心持ちのことです。もう少し具体的に言うならば、何らかの課題に直面したときに「無理そうだ。」「できやしない。」などと思うのではなく、「頑張れば、自分の力でなんとか克服できるぞ」と、自分自身に期待や自信が持てる心的状況のことです。

1学期の学校評価（アンケート調査）では、特に学習面において「自己効力感」の高まりが感じられる結果となりました。PCを使った学習、ステージ制への取組など、子供たちは、頑張ったことへの手応えを感じているようです。



	項 目	肯定的回答	昨年比
①	みんなで学び合う授業は楽しく、学習の内容がよく分かる。	93.1%	+1.1
②	授業で学習したことを生かして、宿題や学習に取り組んでいる。	90.4%	+2.2
③	授業に家庭学習（予習・復習・自主勉強）を生かしている。	82.0%	+3.1
④	学校生活の中に自分で考え、進んで取り組める活動がある。	89.7%	-0.3
⑤	自分の行動を振り返り、次に何をすべきか自分で分かっている。	88.5%	-0.2

＜R4.7 実施「学校評価」子供へのアンケート調査より＞

高い「自己効力感」は、子供たちの豊かな成長に欠くことはできません。「もしも失敗したらどうしよう」という不安が強い状態では、課題や新しいことに挑戦することはできません。何事にも尻込みすることなく自分なりに考え判断し、時に仲間と協働しながら、課題や新しいことに挑戦することが大切です。たとえ失敗した場合でも、前向きな気持ちで再挑戦することがさらに大切です。挑戦すること（自ら行動すること）なくして成長は期待できません。

本校では引き続き、子供たちに自己効力感の涵養を図るため、学校生活の様々な場面で、①子供たちが自分で考え行動できる場を設定し成功体験を積み重ねていくこと、②仲間の頑張りを観察し、共有する場を設定すること（よいところ見付けの継続）、③子供たちの頑張りの丁寧な価値付けをすることに参ります。2学期は正に成長の時です。